

復活節第四主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏（黙祷）  
「プレリユード」  
D.フレスコバルディ作曲

あいさつ  
讃 美 讃美歌 21/333 番  
開会の祈り  
交 読 詩 篇 詩編 116 篇 1～7 節

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書  
✙コロサイの信徒への手紙 3 章 1～10 節（新 P.371）  
✙ヨハネによる福音書 20 章 11～18 節（新 P.209）  
応 答 唱 讃美歌 21/39-4 番  
教 話 井上隆晶牧師  
『なぜ、泣いているのか』  
使 徒 信 条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番  
教会の祈り（連祷）  
平和の挨拶  
讃 栄 讃美歌 21/83 番  
主のいのり  
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/332 番  
感謝の献物  
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番  
祝福の祈り 井上隆晶牧師  
後 奏（黙祷）  
「小フーガ」  
K.コルブ作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 寺田律子  
奏 楽 鹿野幸枝  
献金当番 臼井久美子  
受付当番 澤田昌人

【本日の予定】

◇教会学校（朝 9 時 30 分）  
・お話し：澤田昌人  
◇讃美歌練習（礼拝後）  
◇合同祈祷会（礼拝後）  
◇教会学校教師会（礼拝後）

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り  
・祈祷予定表の通り  
◇英会話グループ  
・5 月 15 日（木）午後 7 時 30 分

【次週主日 5 月 18 日のご案内】

◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）  
・お話し：井上万里子  
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）  
・聖 書  
✙ヨハネによる福音書 21 章  
1～14 節（新 P.211）  
・教 話

『夜明けの漁』

・讃美歌 21 321、39-4、317  
・交読詩篇 詩編 117：1～2  
・司式補佐 澤田昌人  
・奏 楽 飯田雅子  
・献金当番 アナスタシア・V  
・受付当番 屋宮英男  
◇讃美歌練習（礼拝後）  
◇合同祈祷会（礼拝後）  
◇伝道委員会（礼拝後）

聖 句

「イエスは言われた。『わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。』」

（ヨハネ 20 章 13 節）

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》：12 日（月）昼 12 時「シャロン千里お誕生日会」、午後 3 時「あやめ保育園理事会」、13 日（火）午後 2 時「人事部委員会」、14 日（水）午後 1 時 30 分「シャロン千里礼拝」、午後 3 時「面接」、17 日（土）午前 10 時 30 分「ヘルパーステーション講話」  
②《5 月の行事のお知らせ》  
■5 月 20 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」  
■5 月 27 日（日）午後 1 時「教会修養会（会堂建築について）」昼食は教会で用意します。大切な修養会です。できるだけご参加ください。  
■5 月 31 日（土）午前 10 時「大阪キリスト教連合会一致祈祷会」（大阪福島教会）、奮ってご参加ください。  
③【祈祷課題】  
●新しい礼拝堂を建築するため。  
●ウクライナとガザの戦争被災者のため。  
④【先週の集会統計】

日	集 会	男	女	大人	計	礼拝献金
4	CS 礼拝	—	1	5	6	¥2,000
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
4	朝の礼拝	8	16	4	28	¥14,150
8	朝の祈り	1	1	—	2	
9	朝の祈り	1	3	—	4	

- ⑤【5/4 の献金報告】  
〔月定〕井上隆晶、相澤美子、飯田雅子、井上万里子、井上朝子、井上聖一朗、勝見仁、黒澤なおみ、小淵公子、小淵賀裕、鹿野幸枝、寺田律子、畑季史子、畑真理奈、菱田朱美、山千代憲一、山千代誠子（計 125,000 円）〔イースター〕飯田雅子、畑季史子、畑真理奈、山添悦子（計 23,000 円）〔各種感謝〕相澤美子、阪口恵美子、成尾京子（計 14,000 円）〔建築〕井上隆晶、飯田雅子、井上万里子、寺田律子、畑季史子、畑真理奈（計 16,500 円）〔互助〕井上隆晶、井上万里子、屋宮英男、寺田律子（計 5,000 円）

【先週の説教要旨の続き】

「た！」という挨拶です。  
私は今回、ここを読んで気づいたことがあります。旅人は聖書の説明はしますが、自分がイエスだとは言っていません。晚餐の時にも客は自分がイエスだと言っていません。イエス様は何も証していないのです。弟子たちはイエス様が「私だ」と証したから目が開いたのではありません。弟子たちは、説教と聖餐によって目が開いたのです。説教と聖餐がイエス様を証しているということです。別な言い方をしたら、説教と聖餐の中にキリストはおられ、説教と聖餐によってイエス様は私と共におられるのが見えてくるということです。「本当に主は復活された」とは、主は今も生きていて、働いておられるということです。ではどこにおられ、どこで働かれるのか？それは皆さんの中におられ、皆さんを通して働かれるのです。その昔はマリアから取った肉体を通してその時代に姿を現し、働かれました。その後は、すべての時代に、すべてのキリスト教徒の肉体を通して働いておられるのです。今の時代に働くために、主は皆さんの体が必要なのです。だから主は受肉して皆さんの中に共におられます。キリスト教徒とキリストとは夫婦の様に永遠の絆で結ばれており、徐々にあの方に私たちは似てくるのです。ああ、キリスト教徒は何と祝福された者なのでしょう。主はあなたの中におられます。その主を見たくありませんか？主と交わりなさい。み言葉を実践しなさい。するとあなたはキリストがあなたと共にいることに目が開くでしょう。

